

「笑顔あふれる喜多方の町」

喜多方市立関柴小学校 六学年

五十嵐 柚月

私は、喜多方市が大好きです。できればこの町にずっと暮らしていきたいと思っています。そこで、未来の喜多方市をもっとより良く、住みやすい町にするためにはどうしたらいいのかを、自分なりに考えてみました。私たちの住む喜多方市は、平成十八年に喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村の五つの市町村が合併し、誕生しました。日本三大ラーメンの一つ、喜多方ラーメンが有名で、町には多くの蔵が建ち並び、「蔵の町」としても知られています。この町のいいところは、やっぱり、豊かな自然に恵まれていたり、おいしい水を産み出す、飯豊山。冬はスキー、夏は元気がわくひまわり畑が有名なさんノ倉スキー場など、見方を変えると「田舎町」で、大きなレジャー施設はありません。しかし、広大な自然を生かした、

農作物作りがさかんです。私たちは、総合の授業でお米や、伝統野菜を育てています。伝統野菜は、四百年も前からある会津に伝えられている野菜です。一度、なくなってしまったけれども、復活させた人がいて、その人達のおかげで私たちも、食べる事ができている奇跡の野菜です。サポートしてくれるのは、農業科支援員のみなさんです。作物を上手に育てる手順や、こつなどを教えていただきます。秋の収穫祭で支援員さんに感謝の気持ちをこめて、おむすびなどを作り、ごちそうします。このような自然を通じた地域のみなさんとの交流があることで、顔見知りになれるし、いつでも見守ってもらっているような気がします。だからこそ、私たちが安心して過ごせる町づくりにつながっていると思います。だから、これからこのような活動を続けていってほしいと思っています。

この間、テレビで福島県の少子高れい化が急速に進んでいるというニュースを見ました。

ここ喜多方市もその一つで、全体の人口も大きく減少しているそうです。人口が減少していくと、町全体の元気がどんどんなくなっていくきます。みんなが喜多方市に住んで良かったと思える町であり続けるためには、どうしたらいいのでしょうか。

喜多方市の歴史ある建物や、しだれ桜やひめさゆり、ひまわり畑など、季節ごとに楽しめる魅力を私たちがもっとほこりに思い、たくさんの人々に知ってもらえるような努力をすれば町もにぎやかになり、人口も増えていくと思います。来てください。方々に喜多方の元気が魅力。笑顔でアピールしています。

このように、一人一人が意見を出し合い、話し合っていて、できることを行っていけば、今よりもっと希望が生まれ、笑顔あふれる町になっ。ていくと思います。みんなと一緒に考えていければいいな、と思って言います。